

■ 千葉市総合交通政策の検証（案）

○平成24年に策定した千葉市総合交通政策のもと、計画的に施策の推進計画の各事業に取り組んでできました。
○主な施策について、一定程度成果を上げている事業がある一方、社会経済情勢の変化等により、今後、取り組みの方向性を見直すべき事業や新たな視点に対応する必要も出ていると認識しています。

施策の推進計画の一部を抜粋

方針	施策	計画と実績【第1次～第3次】※R2分は見込み値	評価
バリアフリーへの対応	鉄軌道駅におけるエレベーターなどの整備	スロープ設置補助 1駅／1駅 多機能トイレ整備済み 6駅／6駅	◎
	ノンステップバスの導入促進	市内路線バスの72.9%が導入済み (540台／741台) ※R1末の実績値	○
乗継ぎの円滑化	路線バスにおけるICカードシステムの導入促進	市内全路線バスに導入済み 10社／10社	◎
	バス運行情報システムの整備促進	バスロケーションシステム整備補助 2社／5社	△
都市内公共交通	地域住民参画型バス等の運行検討	3地区において手法検討を実施したが、運行実施には至らず	(△)
	アドバイザー制度の導入による地域住民の移動手段確保への取組の支援	地域公共交通アドバイザーを派遣 7名	(△)
千葉都市モノレール	駅舎への多機能トイレの導入促進 利用者の増加への取組み	洋式トイレの改修工事実施 6駅／6駅 パーク&ライド実施ほか	◎
	車両更新の促進 施設の維持更新	モノレール事業者の車両購入に対する補助を実施（4編成8両／4編成8両）	◎

定期的な計画のためカッコ書きとしています。